

出雲市内伝統建築物調査班 No.2 (塩冶神社の課題の発見、修復)

本校建築科3年生の課題研究の授業では出雲市内の伝統建築物を調査する班があります。その班では、出雲市内の伝統建築物の課題点を探り、解決するために3年間学習してきた建築の知識・技術を生かした活動をしています。

塩冶神社の現状調査した際、本殿玉垣の控え柱が腐っているのを発見し、修理して取り付けました。生徒は、古材と新材を加工して組み合わせるのにとっても苦労しながら、丁寧に作業をしていました。

そのほかにも、賽銭箱が壊れていたため、新しく作り寄贈することとなっています。その様子も追って報告します。

